

令和3年度 第1回男女共同参画推進委員会 議事録

日時	書面開催 【審議期間】令和3年9月21日（火）から10月8日（金）まで
会場	書面開催
出席	足立、岩渕、成田、野中、田中、辻、加藤、山之内、坂口、佐原、各委員事務局（倉石室長、津田係長、庄野主査、原田主事）
資料	資料1 蕨市男女共同参画推進委員会委員名簿 資料2 審議会等の女性員の登用状況について 資料3 令和2年度男女共同参画事業の進捗状況について

議 題

(1) 審議会等の女性員の登用状況について

【委員からの意見】

(委 員) 昨年度に比べ 0.4 ポイント下がったといえ 41.7%で目標としている 40%を超えている。

各審議会等の委員には、その分野の知識や経験を持っている人がなることがほとんどであると思う。したがって審議会によっては、女性がすくなくなくなってしまっているのも納得できる。

現在は学びや職業選でも性別を問わなくなっていることから、将来的には女性員の登用率も上がってくるのではないかと考える。

(委 員) 昨年度よりやや下がったのは残念ですが、41.7%を維持され、40%目標を達成されている点は良かったと考えます。

次のステップとして「パリテ」を考えると、目標を 50%に引き上げることを推奨します。

(委 員) 建築、土木など携わる女性委員が少ない分野こそ積極的な登用が必要ではないかと存じます

(委 員) 防災会議：防災大学で避難所の設営を学びました。女性だから気付くことも多いと思います。女性委員が増えてくれたらいいな！と思います。

(委 員) 全ての審議会に女性が含まれたことについては良かったと思います。市民生活部担当の委員会、協議会等の女性登用率が低いと思います。(審議会、協議会等は内容等もあるので少ないのは仕方ないと思いますが) 地域活動を中心としている委員会等（例えばコミュニティ委員会）が低いと思います（地域の問題があるかと思いますが）。

(委 員) 女性委員の登用率について目標である 40%を保っている点はその点は評価できるのではないかと。健康福祉部の「子ども・子育て会議」はもっと男性の割合が増えると良い。

(委員) 令和3年度の女性委員登用率は、昨年度より0.4%低下してしまったようですが、蕨市男女共同参画パートナーシッププランにおける、令和5年度までに女性委員の割合を「40%」とするという目標をすでに達成し、すべての審議会等に女性委員が含まれているという喜ばしい結果も出ているようです。

全体的な数字では目標達成という結果が出ているので、残る2年で、登用率が低い審議会の女性委員比率の向上が図られるよう取り組んで頂くとともに、女性比率が極端に高い審議会等の男性委員登用を進め、男女比のバランスがとれた審議会等になることを願います。

(委員) 審議会の女性の割合に関しては、現状理解する事が出来ましたが、住民の立場から市民生活の上で直接的に関係、関心のある下記の事が知りたいです。

- ・市内37町会がありますが、その各町会では会長、役員の方の男女の割合はどの位か
- ・民生委員は市内全域で何人活動していて、その男女の割合はどの位なのか

上記2項目についての調査及びその改善策を検討していただければうれしいです。

(2) 令和2年度男女共同参画事業の進捗状況について

【委員意見】

(委員) コロナ禍において、感染防止の観点から事業の縮小や中止は仕方のないことだった。そんな中、男女共同参画の啓発につながる事件が起きた。

2月にオリンピック組織委員会会長の「女性蔑視」発言があり、連日報道され、海外メディアからの関心も高かった。このことは、日本が女性の人権に関しいかに遅れているか、女性蔑視発言を許してきた社会だということを、国民が認識したのではないかと思う。

すぐには難しいが、社会全体が変わっていかねばならない。

現在女性の就業率は昔と比べ、はるかに上がっている。共働きの夫婦も増えているわけだが、家事労働の時間は妻が夫の3倍も長いという統計がある。企業において指導的地位の女性の比率は12%と極めて低い。子育て支援の充実や女性リーダーの長期的育成を考えるような社会にならないといけない。

教育現場での男女共同参画の啓発はどうなっているのか

職場などで若者が上司に意見を自由に言える雰囲気はあるのだろうか

(委員) 引き続き小中高への施策を進めて頂ければと存じます。

(委員) 関連事業がこんなに沢山あり、様々な部署が関わっていることを初めて知りました。これから少しずつ学ばせていただきます。

(委員) 市民活動推進室の活動内容は良いと思います。

学校関係における男女平等教育の推進については啓発活動の内容が具体的に分かりませんので進捗状況と実績が分かりづらいです。

コロナ禍において男女共同参画は大変だったと思いますがこれからもよろしくをお願いします。

(委員) コロナウイルスの感染拡大防止が現段階では優先されると考えるので、事業の中止や延期は致し方ない。

(委員) 資料からは、男女共同参画事業においても、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事業の中止や延期があったり、あるいは書面、オンラインでの開催に変更されて実施されたりしたことが見受けられました。

しかし、そのような中でも啓発事業においては、パネル展の開催やポスター掲示、チラシ配架、一部の講座の実施がされており、全体的にみると、事業が概ね計画通り進捗したことがわかります。

新型コロナウイルスの感染が収まらない中ではありますが、コロナ禍で特に必要とされる DV 防止や働き方支援などの事業が令和3年度においても確実に実施されることを望みます。